

丹後地域公民館だより

電話 0772-69-0664 FAX 0772-75-2006 平成22年2月25日発行 第34号

「京丹後市の文化祭」が実施されます

昨年7月に発足した、京丹後市文化協会にとっては初めての、「京丹後市総合文化祭」が行われます。丹後町からは、「箏曲菊謡会」の発表と、「漁火フォトクラブ」の作品展示があります。多数のご来場をお待ちしています。

【舞台芸能祭】

◎日時 平成22年3月14日（日）

午前10時～午後5時20分

◎会場 京都府丹後文化会館（峰山町）

◎内容

○第1部 文化協会団体による発表 午前10時～

○記念公演 安達朋博（ピアニスト：京丹後市出身）
午後1時～

○第2部 文化協会団体による発表（箏曲菊謡会 他）
午後2時～

【総合作品展】

◎日時 平成22年3月13日（土）～14日（日）

午前10時～午後5時

◎会場 峰山地域公民館・丹後文化会館ホワイエ

◎内容 文化協会団体による作品展示
（漁火フォトクラブ 他）

京丹後市成人式が実施されます

京丹後市としては、6回目となる「京丹後市成人式」が行われます。

◎日時 平成22年3月21日（日）

受付：午後1時 開始：午後2時

◎会場 京都府丹後文化会館（峰山町）

◎対象者 平成元年4月2日～平成2年4月1日
生まれの市内在住者及び市内中学校
卒業の方（該当の方には個別にご
案内いたしております）

◎内容 ○開会行事 児童合唱団の合唱 他

○式典 二十歳の主張 他

○記念撮影 町に分かれて

※お問い合わせは社会教育課（電話69-0630）
まで。

公民館・体育施設の利用について

◎予約について

各施設は、利用希望日の前月の1日から予約ができます。学校体育施設は、直接学校へ連絡し、空き状況を確認し、仮予約をして下さい。

地域公民館、社会体育施設の仮予約は、インターネット、又は地域公民館へお問い合わせの上、仮予約をして下さい。

◎申請手続きについて

仮予約の後、できるだけ速やかに、地域公民館窓口で、利用申請書を提出のうえ、利用料金の支払いをお願いします。利用日の3日前までに手続きが行われない場合、利用できない場合があります。

◎利用料金の還付について

各体育施設では、利用日の3日前までに、利用の取り消しを申し出た場合、又は、天候など利用者の責任でない理由で、利用ができなかった場合は、利用料金の還付ができます。この場合は、速やかに地域公民館へ連絡の上、手続きを行って下さい。なお、丹後地域公民館の利用については、利用料金の還付はできません。

◎利用上の注意（お願い）について

○丹後社会体育館などの、施設の利用後には直ちに鍵の返却を行って下さい。

○竹野小学校の体育館、グラウンドは、4月以降社会体育施設となります。利用については地域公民館までお問い合わせ下さい。

訂正とお詫びについて

平成22年1月25日発行の、「丹後地域公民館だより第33号」において、「豊栄小学校 6年生 佐々木祐奈」とするべきところを、誤って「間人小学校 6年生 佐々木祐奈」と表記しました。お詫びし訂正いたします。

※裏面には、前回に引き続き、「平成21年度第20回丹後町少年少女意見発表大会」の発表内容の要旨を掲載しております。

（裏面もご覧下さい）

「丹後の魅力」

間人中学校 1年生 新井有紗

私の住んでいる丹後は、魅力的で大切な宝物です。住んでいる地域の人たちは、とても優しい人たちで、気軽に話しかけてもらったり、行事などで手助けをしてもらったりして、すごくうれしかったです。

丹後の魅力は、他に間人の海があります。この海には毎年多くの観光客が訪れ、間人ガニやサワウなどもよく獲れます。私はこの海にボランティアとして清掃活動をしにいきました。そこには海から流されてきたゴミなどがたくさんありました。間人の海がゴミのせいで汚くなるのが悲しかったです。丹後にはたくさんの自然や文化があることがわかりました。しかし、自然が壊されたり、受け継ぐ人がいなくて、文化がなくなってしまうと、丹後の魅力がなくなってしまうと思います。ずっと先の世代にも、残していきたいと思います。

「思いやりの心」

間人中学校 2年生 吉田彩香

人権学習で、自分のお母さんに障害があるという女の子の気持ちと、障害があるお母さん自身の気持ちを知ることができました。バリアフリーの設備はよいけれど、困っているときに、その場で手伝ってもらえるほうが、もっとありがたいと思っていることがわかりました。今まで、困っている人や、障害のある人にあまり出会ったことはありません。出会ったとしてもどうすればよいのかわからないか、困っている人に声をかける勇気がもてないかのどちらかで、結局何もなしのまま、その場は過ぎてしまうのだと思うと思います。この学習で勇気が出せない弱い自分を変えなくてはいけないと思いました。思いやりの心は大切です。障害のある人もそうでない人も、みんなが思いやりの心が持てるような、そんな世の中にしていきたいです。

「優しい心」

間人中学校 3年生 谷口美葉

毎日のように私の耳に入ってくる、「殺人」という言葉。私はこの事件が起こる、社会について考えてみました。人を殺してしまうのは、感情的なものが多いようですが、これによって命が失われていいはずはありません。人は感情を制し、「考えること」や、話すこと、伝えることができます。本当に思いを伝えあい解決できなかったのでしょうか。そこには、誰かがいなくなって訪れる「悲しみ」、人の命を奪ってしまったことに対する「哀しみ」があると思います。人権学習で「償い」という歌を聴きました。交通事故で、人の命を奪ってしまった「ゆうちゃん」は、その被害者の奥さんへ、給料を仕送りし続けました。6年後のある日、ゆうちゃんへその奥さんから手紙が届きました。ゆうちゃんの償う気持ちが通じたのです。こんな優しい気持ちが、社会を明るくするのだと思います。

「おはよう」

宇川中学校 1年生 髭美咲

私は、小学校6年生の頃からあいさつをし始めました。中学校に入ってから近所の人にしっかりとあいさつをしています。通学路ではいつもあいさつをしているひとは、たくさん言葉をかけてくれ、そのひととあいさつをすることが楽しみになりました。

私は、あいさつはとても大事なことだと思っています。あいさつをしなければ、コミュニケーションがとれないと思います。新聞には「敬語とあいさつができ若者」と書いてありました。「できている人だっている。」と思い、少し腹が立ちました。でも、よく考えてみると、確かに自分中心の若者が増え、家族もばらばらになってきているような気がします。私は、いろんな人が、いろんな人にあいさつをするようになれば、もっと笑顔のある社会になるとと思います。

「鉄道に光を」

宇川中学校 2年生 塩谷龍馬

ある日列車に乗ると、乗客は自分1人でした。このままでは、「北近畿タンゴ鉄道」(KTR)は本当に廃止されてしまいます。今では様々な取り組みにより、少しずつ利用者は増えてきてはいますが、まだまだ順調ではありません。これについて、自分もいくつか意見を考えてみました。一つは、JRと協力して、浜坂駅から余部鉄橋を渡り、西舞鶴駅までの景色の良い所で一時停車しながら走る観光型列車を取り入れてはどうでしょうか、二つ目は、列車や風景などの写真に音楽を入れたスライドショーのDVDを作ることです。きれいな景色や花火などのいろいろな要素を入れれば一般の人でも楽しめると思います。車はできるだけ使わず、鉄道の利用が増えれば環境問題にも貢献できます。僕は、鉄道の利用をもっと広めていきたいです。

「情報社会について思うこと」

宇川中学校 3年生 廣嶋亜美

現在、情報社会を生きる私たちにとって、必要不可欠なのは「インターネット」です。私はよくインターネットを利用します。知りたいことを、すぐに検索して調べたり、家にいながら買い物ができるなど、非常に便利です。しかし、良いことばかりではありません。悪意によってつくられたウィルスや、嘘の情報、ネット犯罪がはびこっています。自分の個人情報が、何も知らない誰かの手に渡る事もあります。近年「ネットいじめ」によって追い詰められ、自殺をしてしまった人の事もニュースで聞きました。インターネットは、便利ですが、大きな問題を抱えています。私は情報の善悪を識別する力が、最も大切だと思います。人としてのルールを守ることも必要だと思います。世界中の人たちの手で作られたものだからです。私もルールを破らないように気をつけたいです。